



令和7年1月発行 加須市立礼羽小学校

あたら とうし むか がつき はし
新しい年を迎え、3学期が始まりました。みなさんはどんな冬休みを過ごしていましたか。

がつ さむ きびき たいちよう くず しき よ しよくじ たいちよう とどの ことし げんき
1月は、寒さも厳しく体調を崩しやすい時期です。バランスの良い食事で体調を整え、今年も元気に
す すごせるようにしましょう。

かがみびら 鏡開き



お正月にお供えした
鏡もちを下ろし

鏡開きという行事が
あります



手や木づちで割って
雑煮や汁粉にして
食べます



「割る」や「切る」と
いうのは縁起が
悪いので



今年も良い年に
なりますように

「開く」という
縁起の良い言葉を
使います

かがみ た
鏡もちをおいしく食べて
ことし ねん げんき
今年1年、元気にすごしましょう！

受け継ごう 日本の食文化

ちいま かてい つた ぎょうじしよく し た
地域や家庭に伝わる行事食を知ってつুক্তたり、食べたりしましょう。

りょうり おせち料理



おせち料理は、もともと、節せち日にち
(季節のかわり目)に神様かみさまに供そなえる
ものでした。今では、正月のみとなり
ました。おせち料理にはそれぞれ
意味いみがあり、健康けんこうや長寿ちやうじゆなどの願ねがい
が込こめられています。

ぞうに 雑煮



ぞうに 雑煮は、もともと年神様としがみさまに供そなえ
たその土地の産物ともちを煮た
ものでした。東日本はおもに角も
ち、西日本はおもちに丸もちを入
れます。すまし汁仕立てやみそ仕
立てなど、さまざまです。

ななくさ 七草がゆ



ななくさ 七草がゆは、1月7日の朝あさに
1年の健康けんこうを祈いのって食べます。
春の七草とは、せり、なずな、
ごぎょう、はこべら、ほとけの
ざ、すずな(かぶ)、すずしろ(だ
いこん)のことです。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間

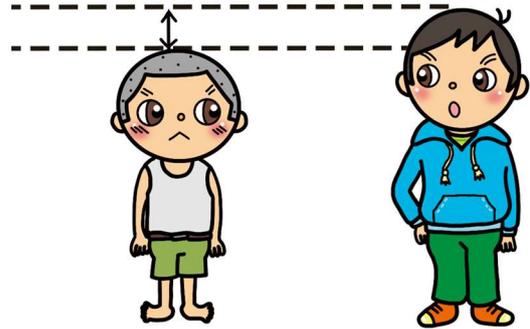


1月24日から30日は全国学校給食週間です。学校給食は、子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。全国学校給食週間は、このような学校給食の意義や役割についての理解を深めて、関心を高めるための1週間です。

昭和20(1945)年、戦争が終わったばかりの日本では食料が不足し、栄養不足の子供たちがたくさんいました。給食も戦争で中断されたままでした。



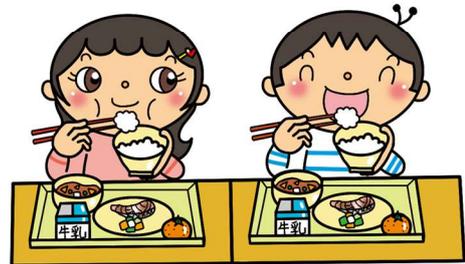
そのころの小学6年生の体は、今の小学4年生くらいのおおきさだったといえます。



この日本の様子を見て、外国から食べ物の援助がたくさん送られてきました。こうして昭和21(1946)年12月24日、学校給食がふたたび始まりました。



12月24日あたりから冬休みに入ってしまう学校が多いので、1ヶ月遅らせた1月24日から「全国学校給食週間」が行われます。給食に感謝し、その意義と役割を再確認する1週間です。



学校給食

の移り変わりを見てみよう!



明治22年

私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。

戦後(昭和20~30年代)

支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。

現在

地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。